

トヨタのテストコース建設

土地利用構想を変更

県企業庁とトヨタ自動車
が、豊田、岡崎市にまたが
る地域に建設を計画中のテ
ストコースで、同社が、予
定地内の野生動物への影響
を考慮し、工事面積を10畝
減らし、コースの4か所に
新たに橋を設けるなど、土
地利用構想を変更したこと
が、28日わかった。

県企業庁によると、工事
面積が減るのは、予定地西
側の一部。希少な猛きん類
の生息地に近いことが分か
ったためで、森林として保
全する。これにより、工事
面積は、企業庁が9月に公
表した280畝から270
畝になる。また、コースに
ついては、これまで橋は1
か所の予定だったが、予定
地内の小動物の移動を妨げ
ないよう、5か所に増やす
ことにした。

テストコースは2010
年度に造成工事が始まる予
定だったが、絶滅危惧種の
渡り鳥「ミゾゴイ」の営巣